

5 県立社会教育施設の概要

(1) 県立社会教育施設の概要

① 図書館

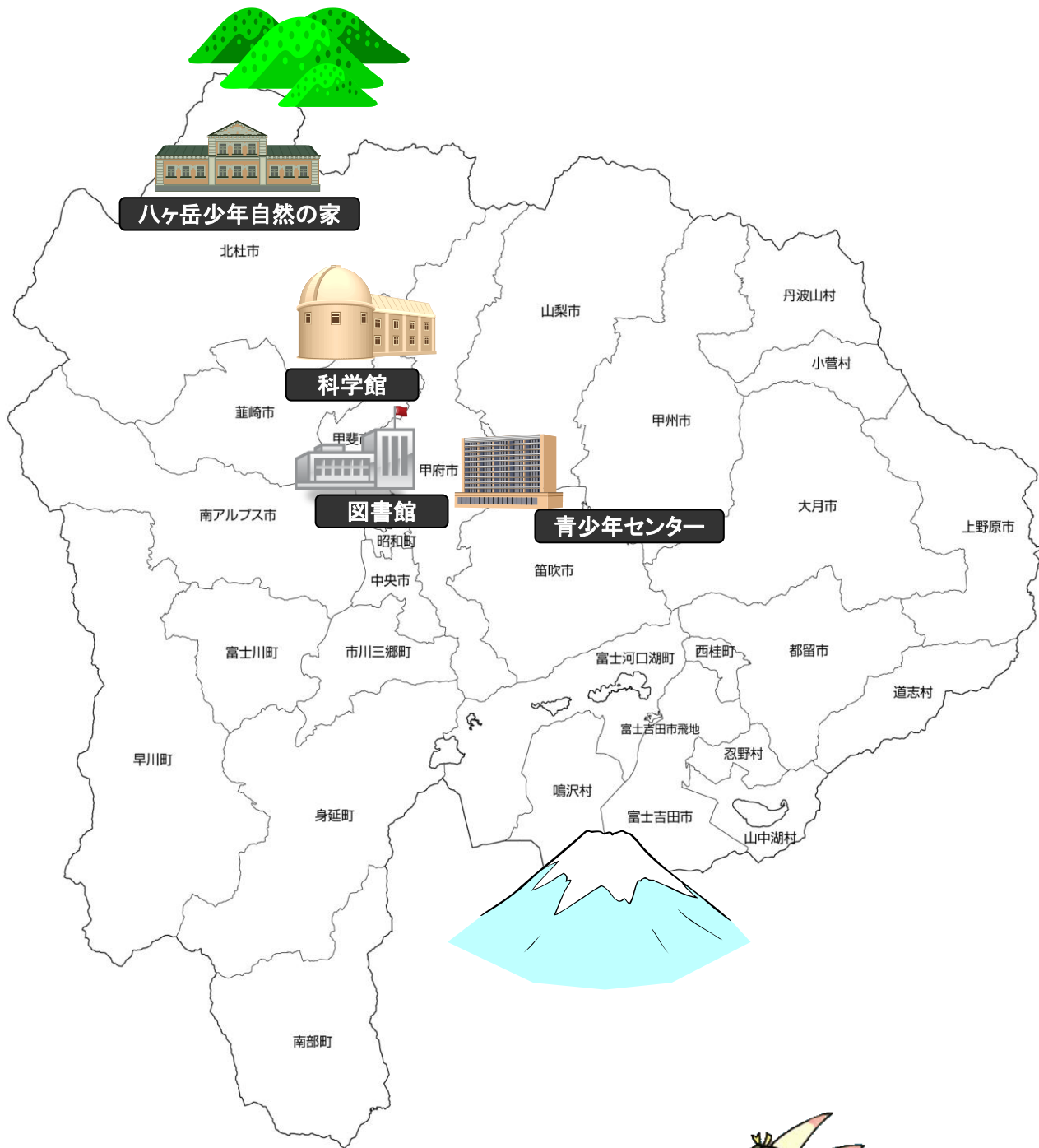
施設名	所在地 管理者	主な施設・設備内容	利用料	開館時間・休館日
山梨県立図書館 館長 金田一秀穂	〒400-0024 甲府市北口2丁目 8-1 電話 055 (255) 1040 (指定管理者(施設 管理)) きらっとやまなし共 同事業体((株)SP Sやまなし、甲府ビ ルサービス(株)) R 3~R6	地階 書庫、貴重書庫、フィルム庫 1階 児童資料コーナー (子ども読書支援センター)、 新聞雑誌コーナー、 視聴覚資料コーナー、 ボランティア活動室、 イベントスペース、 交流ルーム、カフェ 2階 一般資料コーナー、 山梨関係資料コーナー、 レファレンスデスク、 マイクロフィルム閲覧室、 読書サービス室、 サイレントルーム、多目的ホール、 交流ルーム 3階 サイレントルーム	イベントス ペース、多 目的ホー ル、交流エ リア施設使 用料は、条 例の規定に よる。	【閲覧エリア】 <開館時間> 平日:9:00~20:00 土日・祝日:9:00~19:00 <休館日> 月曜日、年末年始等 【交流エリア】 <開館時間> 9:00~21:00 <休館日> 年末年始等

② 青少年教育施設

施設名	所在地 指定管理者	主な施設・設備内容	利用料	開館時間・休館日
山梨県立八ヶ岳 少年自然の家 所長 立川弘行	〒407-0301 北杜市高根町清里 3545 電話 0551 (48) 2306 (指定管理者) 公益財団法人山梨県 青少年協会 R5~R8	宿泊室 30(8人用20室、6人用8室、 6人用2室) 食堂 1(204人) 乾燥室 1(16㎡) 講堂 1(200人) プラネタリウム 1(50人) 体育館 1(787㎡) キャンプ場 定員180人 研修室 3(30人1室、40人1室、50人1室) クラフト室 2(40人2室)	宿泊料、 キャンプ場 使用料は、 条例の規定 による。	<開館時間> 8:20~17:05 <休館日> 月曜日、休日の翌日、年末年始 (4/30~5/5、7/21~8/31は無休)
山梨県立科学館 館長 小林直紀	〒400-0023 甲府市愛宕町 358-1 電話 055 (254) 8151 (指定管理者) 山梨科学推進グルー プ((株)テレビ山 梨、(株)コングレ、 (株)東急コミュニ ティー、(株)デザ イン・ピクチャー ズ) R5~R8	展示部門 (常設展示室、マルチメディアコーナー、 多目的ホール) スペースシアター部門 (20mドーム、180席内車イス席10席) 学習部門 (実験工作室、あそびの部屋、 天体観測室) その他 (展望テラス、中庭テラス、カフェレストラン)	入館料、観 覧料は条例 の規定によ る。	<開館時間> 9:30~17:00(入館は16:30まで) *夏休み期間は9:00~17:30まで(入館は17:00 まで) <休館日> 第1・2・3月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日) 年末年始 その他臨時休館日

施設名	所在地 指定管理者	主な施設・設備内容	利用料	開館時間・休館日
山梨県立 青少年センター 館長 立川弘行	〒400-0812 甲府市和戸町 1303 電話 055(237)5 311 (指定管理者) 公益財団法人山梨県 青少年協会 R5～R8	本館(旧:リバース和戸館) 研修室3(50人、50人、30人)、 会議室2(18人、18人)、 和室1(30人) 小ホール(机椅子あり50名、なし30名) 多目的室(48人) 体育室(軽スポーツ等) 青少年相談室 エレベーター1基 別館 音楽室(定員20人) 多目的ホール(講演会、コンサート、 各種パーティー、180人収容可) 団体事務室(432.75㎡) 団体交流室(70㎡) 駐車場(25台) 運動場(芝生、サッカー等の練習、レクリエー ション利用可)、テニスコート(砂入り人工芝 (オムニ)コート、2面)、駐車場(221台)、バス 駐車場(28㎡)	会議室、体 育施設利用 料は県条例 の規定によ る。	<開館時間> 9:00～21:00 <休館日> 月曜日、祝日(振替休日を含む)の翌日、年末年始 (4月29日～5月5日、海の日～8月31日は無休) ※ただし、以下の施設は改修工事のため、工事期 間中は利用不可。 工事期間(予定) グランドR4.12～R5.8 ※以上、山梨県教育庁生涯学習課が所管する社会教育 施設

(2) 県立社会教育施設配置図



山梨県立図書館キャラクター
本探偵ジッポ・ホンムズ1世

(3) 山 梨 県 立 図 書 館

資料・情報を収集・整理・保存し、その提供を行う。来館、及び、ホームページや市町村立図書館を介して利用する多くの県民の学習支援、生活支援、ビジネス支援を行う。また、読書活動を推進し、県民の教育文化の発展に寄与する。

事業名	事業概要
図書館資料の整備	県民の生涯学習を支援するための資料の収集整備を図る。地域資料、山梨県行政資料、県人著作資料等を収集する。産業及びビジネス支援資料の充実、障害者や在住外国人のための資料の収集を行う。また、子どもの読書活動を推進するために、児童書及び児童書研究資料の収集を行う。
来館利用者に対するサービス	図書館資料（図書、雑誌、視聴覚資料等）の閲覧・貸出サービス、レファレンスサービス、読書相談、インターネット利用端末・オンラインデータベースの提供、複写サービス等を行い、県民の学習・調査研究活動を支援する。
Webサイトを活用したサービス	Webサイトから、レファレンスデータベース、パスファインダー、各種図書館情報等を発信する。また、電子書籍の利用や来館せずにインターネット経由で所蔵資料の予約ができるサービス、EメールによるレファレンスサービスなどWebサイトを活用した非来館型のサービスを提供する。
読書活動の推進	関係機関等と協力し、読書活動の推進を図る。また、「子ども読書支援センター」を設置し、関係者の活動を支援すると同時に各種のモデル事業を実施する。
電算システム及びネットワークの管理・運営資料のデジタル化	図書館業務システムの運営により、業務の効率化と利用者サービスの向上を図る。山梨県図書館情報ネットワークシステム（総合目録データベース）の整備、運営を行う。また、「国立国会図書館総合目録データベース」「国立国会図書館レファレンス協同データベース事業」へのデータ提供等、外部ネットワークとの連携を行う。その他、山梨に関する資料のデジタルアーカイブ化も行い活用・公開を進める。
広報活動	「読書山梨」「山梨県の図書館」「こどもにすすめたい本」「やまなし子どもの読書情報」等を刊行する。また、ホームページ、SNS、新聞、テレビ等による広報を行う。
市町村立図書館等との連携・協力	市町村立図書館、学校図書館等への図書館資料の協力貸出や、レファレンス回答業務を行う。また、図書館サービスや図書館員の資質向上を目的とした研修会を開催するとともに、市町村立図書館等の運営についての助言や情報提供などを行う。さらに大学図書館、研究機関との連携・協力を行う。
図書館協議会	「図書館法」第14条及び「山梨県附属機関の設置に関する条例」により設置された山梨県図書館協議会を開催する。 委員15名・任期2年
交流事業の開催	交流エリアで、講演会や音楽会、映画の上映会等にぎわいを創出する様々な事業を行う。

(4) 山梨県立八ヶ岳少年自然の家

恵まれた八ヶ岳高原の大自然の中で、野外活動や自然観察などの多面的な活動を通して、自然とふれあいながら学校生活や家庭生活ではできない貴重な体験の場を利用者に提供し、心身共に調和のとれた豊かな人間性の育成を図る。

令和5年度 主催事業計画

事業名	期日	目的	対象等
八ヶ岳利用者研修会	4月	当自然の家の利用を予定している団体引率者が、集団宿泊活動や野外活動の意義を理解し、活動プログラムを組み立てる上で必要な指導知識や技術の習得を図る。	今年度を利用を予定している団体の引率指導者 4月 計2回 日帰り 各回50名
春を探しに清里へ～GWを楽しもう～	5月	ゴールデンウィーク中に、家族で自然の家に宿泊し活動プログラムを体験してもらうことで自然の家への理解を深めつつ、家族の交流や心身のリフレッシュを図る。	家族 1泊～2泊 本館泊 10家族(30名程度)
ファーストステップキャンプ ～意外と簡単？家族でキャンプデビュー～	7月	キャンプをしたいが知識がない、道具がない等、はじめの一步を踏み出せないという家族が気軽に参加し、野外活動の知識や技術を楽しみながら習得する。また、家族で協力してキャンプ生活を送ることで、家族間のコミュニケーションを深め、より良い家族関係を構築する機会とする。	幼児、小学生を含む家族 1泊2日 キャンプ場泊 20家族(60名程度)
地域環境美化事業	4月～11月	地域住民と連携して、自然の家の玄関口ともいえる通称「牧場通り」を中心に、自然の家周辺の環境美化に努める。	朝日ヶ丘地区住民 4月～7月 計4回 日帰り 7月 70名
バンビキャンプ	9月	幼児期の子どもたち同士の集団生活から、自立心、協調心、冒険心を養うとともに、様々な自然体験活動を通して幼児期に培うべく情操を育むきっかけづくりとする。また、同世代の子どもを持つ親同士が、様々な体験活動をおこなう中で、お互いに子育ての経験や悩みを共有するなどし、今後の親子の関わり方について考えるきっかけとしてもらう。	幼児(年中・年長)とその保護者(両親でも可) 1泊2日 本館泊 20組(40名程度)
地域交流事業	9月	清里地域周辺の住民に施設を開放し、自然の家と地域住民との交流・協力体制を築き、当少年自然の家への理解と利用促進を図る。	清里地域の住民 日帰り 定員なし
ワクワク！ホク！オクトーバーキャンプ	10月	小学校低学年の子どもたちが、親元を離れておこなう共同生活や自然体験を通して自分に自信を持ち、協調性や社会性を育むきっかけにするとともに、起伏のある敷地を活かした野外活動を通じて身体能力の向上を目指す。	小学校1、2年生 1泊2日 本館泊 40名
フォレストキャンプ～五感を磨く1泊2日～	10月	デジタル機器に触れる機会が増加することにより、様々な体験活動をする機会が減少し、人と人とのコミュニケーションにも変化が生じている。集団宿泊体験を通して子ども同士のコミュニケーションを増やし、五感を使って、自然への関心を高める。	小学3、4年生 1泊2日 本館泊 40名
ほくほく焼いも体験 ～焚き火を使って作ってみよう～	10月	家庭では体験することが少なくなった秋の風物詩を体験し、身近な人や初めて会う人と季節の自然を感じる機会とするとともに、普段できない体験をすることから、新たな自然の楽しみを味わってもらう。	どなたでも 日帰り 100名
ファミリーキャンプ	11月	家族で楽しみながら、ゆったりとした時間の中で自然を感じ、日頃の疲れを癒やすとともに、家族のコミュニケーションを図る。	幼児、小学生を含む家族 1泊2日 本館泊 20家族(60名程度)
利用者との意見交換会	11月	実際に自然の家を利用した団体に対し、自然の家に対する利用者目線での意見や要望を伺うことで、今後の自然の家のあり方や運営方法の参考とする。	今年度に当所を利用した団体からの代表者 日帰り 5名程度
八ヶ岳星空観望会	11月 12月	光害が少ない星空の観望を通じて、星座や星空に親しみ、自然に対する興味や関心を高める。	どなたでも 11月、12月 日帰り 定員なし
八ヶ岳星空ライブ配信	8月 12月	普段なかなか施設に来られない方に、自然の家周辺の美しい星空の魅力を伝えることにより、自然に親しんでいただける機会を提供する。	どなたでも 8月、12月 計2回 定員なし
クリスマスキャンプ	12月	初めて会う仲間と、クリスマスという親しみのあるイベントをテーマとした特別な体験を通じて、自身の協調性や共感性を育むとともに、他者と楽しみを分かち合う喜びを味わってもらう。	小学校5、6年生 1泊2日 本館泊 40名
自然の家に泊まろう～Win・winウィンター～	1月 2月	閑散期における利用率向上を図るとともに、家族で自然の家に宿泊し活動プログラムを体験してもらうことで自然の家への理解を深めつつ、家族の交流や心身のリフレッシュを図る。	幼児、小学生を含む家族 1月、2月 最大2泊3日 本館泊 15家族(45名程度)
ポコポコ登ろうボルダリング	1月 2月	冬でも楽しく体を使うことができるボルダリングをすることで、寒い季節の運動不足解消とともに、運動することの楽しさや爽快感、チャレンジ精神の大切さを感じてもらう。	親子(小学生以上) 1月、2月 計4回 日帰り 各回10組(20名程度)
月見里(やまなし)観望会	3月	星の美しい清里地区を舞台に家族で星空を見ながらコミュニケーションのきっかけとしてもらうとともに、誰もが知っている天体である月の動きを知ることで、天体に興味を持つ機会とする。	幼児、小学生を含む家族 1泊2日 本館泊 15家族(45名程度)
きよさとさんぽ ～朝の鳥たちの声を聴こう～	3月	朝の清々しい自然の中を家族で楽しみながら歩くことで、新たな発見を共有しながらコミュニケーションをとる機会としてもらう。また、鳥たちの声を聞きながら自然を楽しむことから、普段とは異なる自然に触れ、自然に興味を持つきっかけ作りとする。	幼児、小学生を含む家族 1泊2日 本館泊 15家族(45名程度)
八ヶ岳少年自然の家の 思い出を描く作品展	募集期間 5月～11月 審査会 12月 表彰式 1月	雄大な八ヶ岳高原の大自然の中で活動した思い出を子どもたちが自由に絵画で表現することにより、自然の家や自然環境への興味・関心を一層高める。	対象:施設を利用した小学生 募集期間で集まった作品のうち、入賞5点、入選40点を審査会で選定し、表彰式をおこなう。 定員なし
KIYOSATOボランティア隊	通年	指導補助者や協力者として活躍の場を提供することで豊かな施設づくりを目指し、協力者が活動から生きがいを見だし、清里地区全体の魅力づくりにつなげる。	奉仕活動に興味のある人(高校生、大学生、一般) 定員なし
利用促進事業	通年	施設利用者の増加	事業参加者

(5) 山梨県立科学館

科学に対する県民の理解と関心を深め、最新の科学技術の普及・啓蒙に資するとともに、次世代を担う児童・青少年が、様々な遊びや体験を通して、科学に対する正しい知識や探求心を培い、豊かな感性と創造性を育ていけるよう様々な事業を展開する。

令和5年度主催事業計画

事業名	趣旨と内容	実施時期 (回数)	対象
一般展示	展示物の操作・解説、体験型展示の補助、保守点検、展示ボランティアの養成等	通年	来館者
特別企画展	高い話題性と学術的要素に加え、体験型展示やエンターテインメント性の高い展示等を展開し、科学に触れるきっかけを作る	夏休み期間	家族連れを中心とした県民全般
企画展	開催時期に想定される来館者層に合わせた企画内容を展開し、来館者数の増加につなげる	GW 冬休み 春休み	家族連れを中心とした県民全般
科学実験教室 科学工作教室	科学実験やモノづくりを体験できる教室事業や学校団体向けプログラムの実施	通年	小学生以上
サイエンスショー	ショー仕立ての科学実験を行い、身近な科学に興味を持ってもらうことを目的とする	通年	来館者
あそびの部屋事業	「あそびの部屋」の運営及び幼児・低学年向けワークショップ、親子向けワークショップ、読み聞かせ等の実施	通年	一般利用 学習利用
マルチメディアコーナー	小中学生を対象に「プログラミング的思考」を育むワークショップ等の実施	通年	来館者 (小・中学生)
スペシャル サイエンスショー	著名なデモンストレーターによるサイエンスショーを開催し、科学への理解と興味の醸成を図る	年間1回	一般来館者
土曜科学クラブ	生涯学習施設としての役割を担うべく、会員制の「科学クラブ」を組織・活動する県内外から講師を招き、知識向上を目指す	年間8回	小中学生
出張科学館	サイエンスショー、工作教室、プログラミング教室等、地域のニーズに合わせた出前教室を実施	通年	未就学児 ～一般
山梨サイエンスクラブ	土曜科学クラブとは別枠で様々なテーマや対象世代に合わせた教室を展開	通年	未就学児 ～一般
出前教室	保育園、幼稚園、小中学校、高校を対象にプログラミング、科学工作、天文などの出前教室を実施し、学習支援と館のPRにつなげる	通年	県内高校生以下 とその保護者
高校生の自然科学 研究発表大会	県内高校生を対象に、研究成果の的確な取りまとめやプレゼン能力の向上を目指す	年1回	高校生
学習向けチャレンジシート の作成・普及	学習効果の向上を目的に学年別チャレンジシートを作成する	通年	小中学生
SSH指定校連携事業	SSH指定校との連携を通して、創造性や独創性を高める指導法、教材の開発を目指す	随時	高校生
中学校職業体験学習	中学生の職場体験を受け入れ、各校との連携を図る	随時	中学生

事業名	趣旨と内容	実施時期	対象
高校生職業体験学習	高校生の職場体験やインターンシップを受け入れ、各校との連携を図る	随時	高校生
博物館学芸員実習	博物館実習を受け入れ、学芸員としての責任感や社会意識を身につけてもらう	随時	大学生
教員用「プログラミング教室」研修	教員を対象としたプログラミング研修を行い、プログラミング教育必修化に向け、学校現場との連携を図る	随時	小学校教諭
教員研修会	研修会の会場提供などを通して、相互に協力できる体制構築と学校・教員との連携強化を図る	随時	教職員
大学社会貢献事業	県内大学との協同によるワークショップ開催を通じて、連携の強化を図る	年数回	小中学生
やまなしサイエンス風林火山	県内企業と連携し、モノづくりや研究の生の現場を紹介し、連携を深める	年1回	小中学生
スペースシアター投影	プラネタリウム・ドームシネマの上映を通して、科学・天文・宇宙について理解や関心を高める	通年	来館者
星を見る会	星を見る会・太陽観測・スターライトツアーなどの実施	通年	来館者
星と音楽と語りのタベ	スペースシアターの空間を生かしたコンサートや朗読会等の開催	年間3回	来館者
ライトダウンやまなし	甲府盆地の消灯を呼びかけ美しい星空を取り戻すことを目的としたイベント等の実施	年間1回	一般
天文学習推進	天体観測やクラフト等、様々な講習会を実施し、天文への興味を深める場を提供する	年間3回	来館者
「大村賞」の顕彰	科学的テーマに対する研究成果を子供達から募り、優秀者に「大村賞」を授与する	年1回	未就学児～中学生
山梨トークイベント	テーマに沿った研究者等を招いてトークイベントを開催する	年間6回	小学生と保護者
サイエンスキャンプ	科学の特定分野について専門家の講義や実験等を通して学習する	年1回	小学生
ハッピーハロウィン甲府	甲府商工会議所と連携したイベントを開催し、地域活性化につなげる	10月	来館者
宇宙飛行士訓練	宇宙展示コーナーの訓練シートを活用し、飛行士訓練を体験する	年12回	未就学児～小学生
愛宕山クラブ	愛宕山を活動フィールドとして、自然科学への理解を深めるイベントを開催する	年数回	小学4～6年生
愛宕山秋祭り	少年自然の家と連携し、秋祭りに合わせたイベント等を開催する	年1回	愛宕山来場者他

(6) 山梨県立青少年センター

山梨県立青少年センターは、青少年に自主的かつ創造的な活動、交流等の場を、青少年を指導する者に研修の場を提供することにより青少年の健全な育成を図るとともに、勤労者に研修、交流等の場を提供することによりその福祉の増進に資するために設置されている。

令和5年度主催事業計画

事業名	期 日	主旨と内容	参加対象・定員
フライングディスクをやってみよう	10月	本格的なフライングディスク競技の体験をとおして、学校以外の仲間づくりや親子での活動の中で親子の触れ合いの場を提供することにより余暇の充実を図る。	小学生及びその保護者 15組30名
地域交流事業	通年	地域住民が楽しめる多彩なイベントを開催し、地域と青少年センターの連携を強化するとともに、住民同士の交流活動を促進することで防犯・防災や子育てに関するネットワークを形成し、安全・安心に暮らせる地域の醸成を図る。	どなたでも(主に甲府市東地区・笛吹市石和地区在住の方) 各回30名程度
居場所づくり	通年	来館者がくつろいで、様々な活動ができる「居場所スペース」を提供し、交流の輪が広がる機会をつくる。	定員なし
施設利用促進事業	通年	マスコミなどへの施設情報の掲載や、ホームページ・SNSの充実を図ることにより、青少年センターの周知を行う。	定員なし
青少年センターボランティア推進事業	通年	各種事業に参加するボランティア育成のための研修会等を実施し、ボランティアの活動支援及び活動に関する案内を行う。	大学・一般 定員なし 研修会のみ 20名
若者相談室(コンサルテーション・ビューロー)事業	通年	ニート、ひきこもりを含む若者無業者を中心に、様々な悩みを聞き、その悩みを解消するための専門機関へ紹介する等の支援を行う。	若年無業者本人、又はその家族
レクリエーションインストラクター養成講座	通年(補講2月) 全9回+補講3回	受講者が、地域や職場で社会活動や奉仕活動を行うにあたり、レクリエーションインストラクターとして実践していくための知識や技術を学ぶ。	大学・一般 5名
運動塾～かけっこ～	春と秋(年2回)	子どもやその保護者が、各スポーツの専門の指導者から学び、楽しみながら運動技能の習得を目指す。また、継続的な運動習慣の定着も目指す。保護者には正しい運動指導の方法を習得してもらい、家庭での継続的な運動習慣の定着を目指す。	小学1年～3年生 とその保護者 10組20名
水鉄砲フェスティバル～作って遊ぼう!～	9月	水鉄砲づくりをとおして、ものづくりの楽しさを味わい、技巧性を養いながら自分が作成したものに愛着を持ち、大切に育てる。また、水鉄砲遊びをとおて、グループ対抗で元気に走り回ったり、遊んだりする機会を提供する。	小学4年～6年 30名

運動塾～タグラグビー～	9月	子どもやその保護者が、各スポーツの専門の指導者から学び、楽しみながら運動技能の習得を目指す。また、継続的な運動習慣の定着も目指す。タグラグビーを通じて、互いを尊重し、チームスポーツの楽しさを学ぶ。	小学1年～4年 40名
令和5年度センターまつり	10月または3月	各種体験会、発表会、出店等による(文化)祭を実施し、地域に根差した施設を目指す。同時に文化・情報の発信地としての機能をセンターが担い、参加者に楽しい一日を提供する。	どなたでも 1,500名
運動塾～器械体操～	春と秋(年2回)	子どもやその保護者が、各スポーツの専門の指導者から学び、楽しみながら運動技能の習得を目指す。また、継続的な運動習慣の定着も目指す。親子で回転や倒立、鉄棒運動などの基礎的な動作を学ぶ。	小学1年～3年生 とその保護者 10組20名
青少年・青少年育成功労者等表彰事業	通年	青少年健全育成の一層の促進を図るため、善行青少年及び青少年健全育成功労者等を表彰する。	定員なし
白ポスト事業	通年	青少年にとって有害な図書等の回収のため、JR駅等に設置した白ポストの維持管理を行う。	定員なし
知ろう！やってみよう！ みんなでパラスポーツ	11月	体験することが少ないパラスポーツを通して、障がい者に対しての思いやりや助け合いの心を養い、共生社会を目指すきっかけとする。	200名
めざせ法律マスター ～模擬裁判をやってみよう～	9月	模擬裁判を通してルール作りや法律などを理解し、論理的思考力等を身につけ、健全な青少年の育成に寄与することを目指す。	小学4～6年生と その保護者 20組40名
ちぎって！はって！ 親子でちぎり絵	11月	ちぎり絵作りを通して、もの作りの楽しさを体験することで、青少年の健やかな成長に資する。また、親子間のコミュニケーションの機会を提供する。	15組30名

(7) 青少年教育施設連携促進

1 趣 旨

- ・ 県民へのより質の高いサービスの提供を目指して、活動プログラムやボランティア・指導者の活用方法及び広報手段等、各施設が蓄積してきた資源の共有化を目指す。
- ・ 相互に教え合い、学び合うことで、青少年教育施設間の交流を活性化し青少年教育施設の指導者としてのより一層の資質の向上を図る。

2 取組内容

- (1) 「山梨県青少年教育施設 施設長会議」の開催 (必要に応じて)
 - <参加者> 施設長 等
 - <内 容> ○施設間連携の促進に資する協議 (各施設の現状・課題、等)
○ネットワーク協議会の在り方 (趣旨、期日、内容、評価 等)
- (2) 「山梨県青少年教育施設 ネットワーク協議会」の開催 (必要に応じて)
 - <参加者> 施設指導員 等
 - <内容例> ○ワークショップ型協議
○研修会
 - ・ 施設で実施しているプログラム体験 (各施設が担当)
 - ・ 「青少年教育施設」に期待される役割等 (県事務局が担当)
 - <方 法> ○3施設で、1回ずつ会場として実施 (3年間で一回り)
(県立以外の他の施設についても、参加を呼びかける)
○研修会において、当該施設の活動プログラムを提供

3 参加施設

- 山梨県立八ヶ岳少年自然の家 (生涯学習課所管)
- 山梨県立青少年センター (生涯学習課所管)
- 山梨県立科学館 (生涯学習課所管)

- 4 関東甲信越地区青少年教育施設協議会 「総会・研修会」 「職員研修会」
 - ・ 県内加入団体
八ヶ岳少年自然の家

※県内施設の担当

2013・2014	第1副会長	県立八ヶ岳少年自然の家
2015・2016	会長	県立愛宕山少年自然の家
2017・2018	監事	県立ゆずりはら青少年自然の里
2019・2020	監事	県立八ヶ岳少年自然の家
2021・2022	幹事	県立八ヶ岳少年自然の家
2023・2024	幹事	県立八ヶ岳少年自然の家